

記者発表(資料配布)				
月/日 (曜日)	担当課 担当名	TEL	発表者 (担当班長名)	その他の配布先
4/19 (木)	体育保健課 学校体育班	078-362-3787 (内線5777)	課長 升川 清則 (織邊 剛)	なし

平成29年度兵庫県児童生徒体力・運動能力調査結果について

I 調査の概要

- 調査目的** 県下小・中・高等学校児童生徒の体力・運動能力の調査を行い、実態を把握することにより、指導の基礎資料を得る。
- 調査校数** 小学校159校、中学校95校、高等学校34校 計288校
- 調査人数** 小学校19,846名、中学校11,166名、高等学校6,039名 計37,051名
- 調査学年** 小学校1～6年生、中学校1～3年生、高等学校1～3年生
- 調査期間** 平成29年5月～7月
- 公表** 平成30年4月下旬に兵庫県教育委員会体育保健課ホームページに掲載

II 結果の概要

- 本県児童生徒の体力・運動能力(平成29年度)と全国平均値(平成28年度)の比較(P3～P5)**
 - 本県平均値と全国平均値の有意差を求めた結果、男女ともに小学校の一部の学年を除き全国平均と「同程度」の項目が多かった。
 - 種目別にみると、持久走は男女とも中学校・高等学校で全国平均を「同程度」もしくは「上回る」項目となった。しかし、反復横跳びの小学生の男女、上体起こしの小学生女子、握力の小学生男女と中学生男子などにおいて、昨年度に引き続き課題が残る結果となった。

【図表1】本県児童生徒の体力・運動能力(平成29年度)と全国平均値(平成28年度)の比較

※下の表は1%水準の有意差検定による。

区分	性別 校種 学年 年齢	男 子									女 子														
		小学校						中学校			高等学校			小学校						中学校			高等学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
新 体 力 テ ス ト	握力	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△	○	△	○	△	△	○	
	上体起こし	△	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	
	長座体前屈	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	○	○	△	△	△	△	○	○	△	
	反復横とび	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	
	持久走	/						○	○	○	◎	○	○	/						○	○	○	○	○	○
	20mシャトルラン	△	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○
	50m走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○
	立ち幅とび	△	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	△	△	△	
	ソフトボール投げ	△	△	○	○	○	○	/						△	△	△	△	○	△	/					
	ハンドボール投げ	/						△	△	△	△	○	○	/						△	○	○	△	△	△
◎全国平均値より上回っている	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
○全国平均値と同程度	1	4	4	6	3	3	3	3	5	4	9	6	0	1	3	1	3	3	6	7	8	6	6	6	
△全国平均値を下回っている	7	4	4	2	5	5	6	6	4	4	0	3	8	7	5	7	5	5	3	2	1	3	3	3	

(◎印は、本県平均値が全国平均値を有意に上回っている。○印は本県平均値と全国平均値が同程度(有意差が見られない)。△印は、本県平均値が全国平均値を有意に下回っている。)

2 本県児童生徒の体力・運動能力（平成29年度）と昭和60年頃（昭和59～61年の全国平均値）との比較（P7）
 兵庫県スポーツ推進計画の目標である、昭和60年頃の水準に達している項目数は増加し、目標達成にむけて達成率は年々上昇している。

【図表2】本県の記録が昭和60年頃に達した項目の割合

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度目標
小学校	0%	0%	16.7%	16.7%	33.3%
中学校	37.5%	37.5%	25.0%	25.0%	62.5%
高等学校	12.5%	25.0%	37.5%	50.0%	50.0%
合計	18.2%	22.7%	27.3%	31.8%	50.0%

- ・水準を超えている項目（指数が100%以上）： 小学校男50mの1項目
 中学校男・女50m走の2項目
 高等学校男・女50m走、男女持久走の4項目
- ・ほぼ達している項目（指数が99%以上）： 中学校男・女持久走の2項目
- ・課題が見られる項目（指数が90%未満）： 小学校男子握力・投能力、全校種女子の投能力

【図表3】平成29年度兵庫県と昭和60年頃（昭和59～61年の全国平均値）との各種目平均値比較

学年	性別	項目	平均値			昭和60年頃を100とした指数(%)		
			S60年頃	H29	記録の差	(H28)	H29	(H28)
小学校5年生	男	握力	18.4kg	16.3kg	-2.1kg	16.3kg	▼ 88.6	▼ 88.6
		50m走	9.1秒	9.1秒	0.0秒	9.1秒	100.0	100.0
		ソフトボール投げ	29.4m	23.5m	-5.9m	23.9m	▼ 79.9	▼ 81.3
	女	握力	17.1kg	15.9kg	-1.2kg	16.0kg	93.0	93.6
		50m走	9.3秒	9.5秒	-0.2秒	9.4秒	97.9	98.9
		ソフトボール投げ	17.4m	14.0m	-3.4m	14.0m	▼ 80.5	▼ 80.5
中学校2年生	男	握力	31.5kg	29.1kg	-2.4kg	28.7kg	92.4	91.1
		50m走	7.9秒	7.8秒	+0.1秒	7.8秒	101.3	101.3
		持久走(1,500m)	371.3秒	372.0秒	-0.7秒	372.3秒	◎ 99.8	◎ 99.7
		ハンドボール投げ	22.3m	20.7m	-1.6m	20.6m	92.8	92.4
	女	握力	25.3kg	24.0kg	-1.3kg	24.1kg	94.9	95.3
		50m走	8.6秒	8.6秒	0.0秒	8.6秒	100.0	100.0
		持久走(1,000m)	274.2秒	276.0秒	-1.8秒	275.8秒	◎ 99.3	◎ 99.4
		ハンドボール投げ	15.4m	13.3m	-2.1m	13.3m	▼ 86.4	▼ 86.4
高等学校2年生	男	握力	44.0kg	39.7kg	-4.3kg	40.2kg	90.2	91.4
		50m走	7.3秒	7.2秒	+0.1秒	7.1秒	101.4	102.7
		持久走(1,500m)	360.9秒	353.7秒	+7.2秒	354.1秒	102.0	101.9
		ハンドボール投げ	27.8m	25.5m	-2.3m	26.1m	91.7	93.9
	女	握力	28.7kg	25.9kg	-2.8kg	26.1kg	90.2	90.9
		50m走	8.8秒	8.7秒	+0.1秒	8.7秒	101.1	101.1
		持久走(1,000m)	291.4秒	290.4秒	+1.0秒	295.3秒	100.3	98.7
		ハンドボール投げ	16.6m	14.0m	-2.6m	13.9m	▼ 84.3	▼ 83.7
	項目数	22項目	7項目		6項目			

※ は、昭和60年頃の水準に達している項目（指数が100%以上）

※ 「◎」は、ほぼ達している項目（指数が99%以上）、「▼」は、課題のある項目（指数90%未満）

3 本県児童生徒の体力・運動能力と生活習慣(P12~P14)

(1) 食事

朝食摂取状況と体力・運動能力の総合得点平均値をみると、ほとんどの校種・学年で、「まったく食べない」児童生徒よりも、「毎日朝食を食べる」児童生徒の方が上回っており、その差をみても全校種で「毎日朝食を食べる」児童生徒が大きく上回っている。

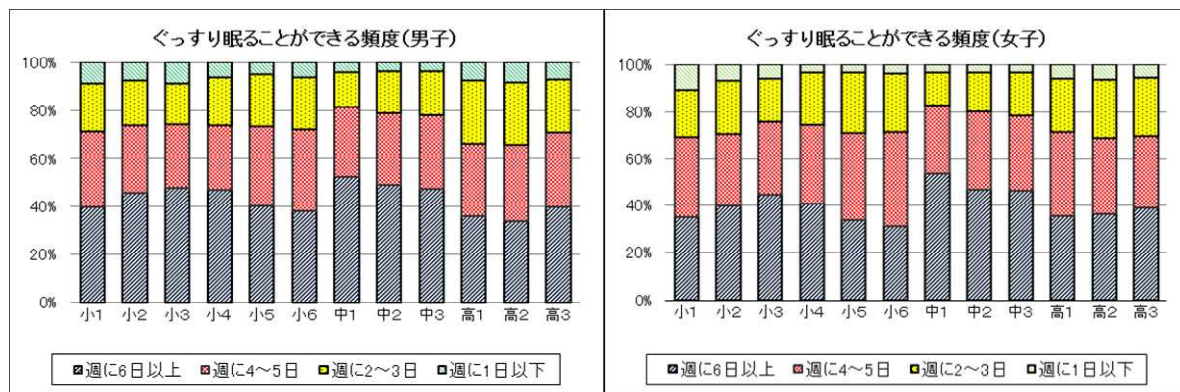
【図表4】 兵庫県児童生徒の朝食摂取状況と体力・運動能力の関係

総合得点平均値	小学校		中学校		高等学校	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
毎日朝食を食べる	45.7	45.9	41.7	50.1	55.4	52.3
まったく食べない児童	44.7	45.0	39.9	47.4	53.2	47.5
総合得点平均値の差	+1.0	+0.9	+1.8	+2.7	+2.2	+4.8

(2) 睡眠

ぐっすり眠ることができる頻度について、本県の結果をみると、「週に6日以上」と回答した、ぐっすり眠れている児童の割合は、ほとんどの学年で平均50%以下であった。また、「週に1日以下」と回答した、ぐっすり眠ることができていない児童の割合は、校種・学年を問わず5%程度であった。

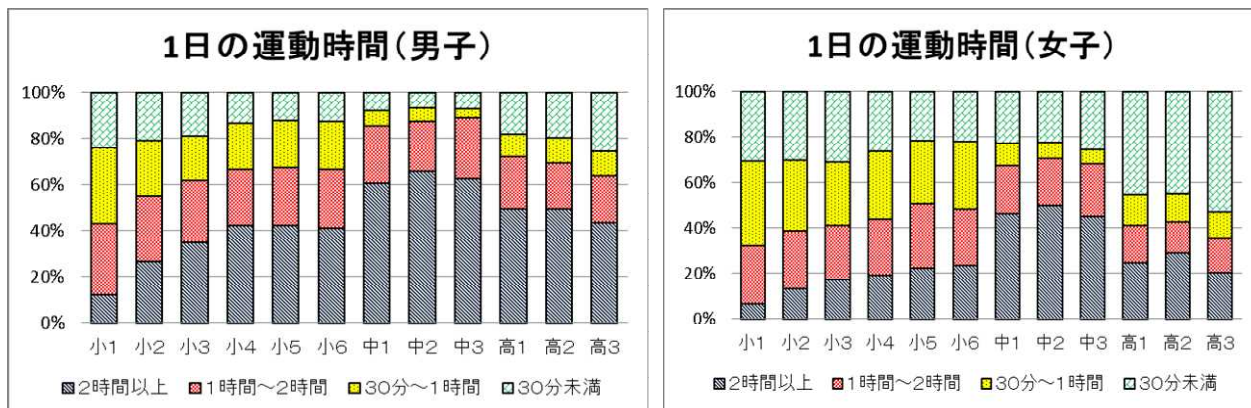
【図表5】 兵庫県児童生徒のぐっすり眠ることができる頻度



(3) 1日の運動時間

本県の結果をみると、学校体育の授業を除く運動・スポーツの実施時間が1日1時間以上の割合の平均値は、小学校男子で60.2% (H28: 59.4%)、女子で42.6% (H28: 40.8%)、中学校男子87.3% (H28: 88.8%)、女子で68.6% (H28: 68.1%)、高等学校男子で68.5% (H28: 70.2%)、女子で39.9% (H28: 40.0%)となっており、ほとんどの校種で昨年度よりも増加しているものの、特に小学校と高等学校の女子においては低い値となっている。

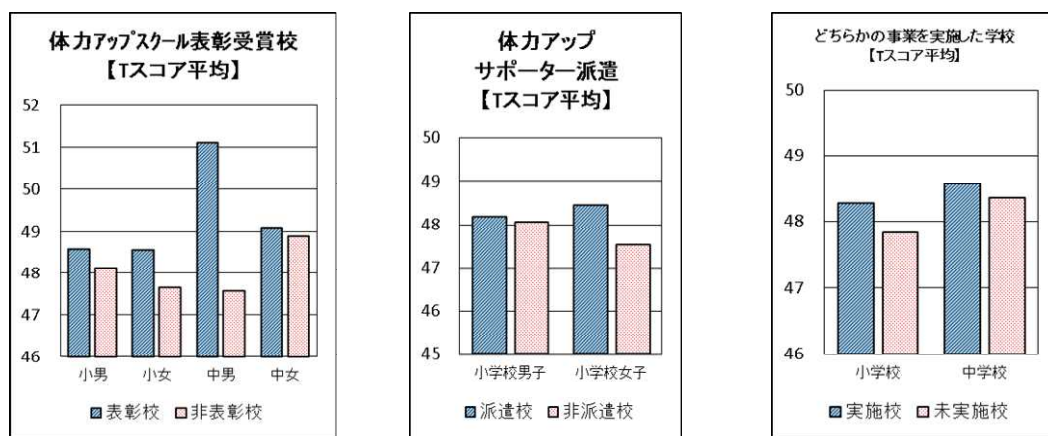
【図表6】 兵庫県児童生徒の1日の運動時間



4 調査結果からみた本県体力向上事業の結果 (P18～P19)

体力アップスクール表彰受賞校と非受賞校、体力アップサポーター派遣校と非派遣校、どちらかの事業を実施した学校とそうでない学校との比較では、全国平均値と標準偏差より求めた、体力合計点Tスコアにおいて、以下の表のとおり受賞校、派遣校及び、事業実施校が高い値（ポイント）を示した。

【図表 7】本県の体力向上事業の結果



※ Tスコア = $(X - M) / S D \times 10 + 50$ 【個々の合計点(X)、全国平均値(M)、標準偏差(SD)】

III 課題

- 1 投能力の向上
- 2 小学生の体力水準の向上
- 3 女子児童生徒の運動時間の増加
- 4 教員の専門的指導力の向上

IV 今後の取組

1 「体力アップサポーター派遣事業」の活用

- (1) 小学校に専門性に優れたサポーターを派遣し、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、運動習慣の定着を図り、小学生の体力向上につなげるために実施している、「体力アップサポーター派遣事業」を継続して実施する。
- (2) サポーターによる指導内容の中で、本県が特に課題としている「投能力」や「筋力」等の向上を狙いとした動きや種目を取り入れるようにする。
- (3) 体力アップサポーターが実施する授業を、近隣学校に対象を拡大し教員研修の場（公開授業）として活用する。

2 体育保健課ホームページの動画サイトを充実（スマートフォン・タブレット端末でも視聴可能）

- (1) 投能力の向上を題材として小学校低学年に対する「ボールを投げるコツ」の指導方法や、体力アップサポーターが実施した跳び箱や泳法などの「効果のあった指導」をまとめた動画をアップデートし、活用の促進を図る。（様々な動きの指導法 57 本をアップロード済み）
- (2) 必要な運動プログラムの項目を短く編集し直した「運動プログラム」(DVD) の活用の促進を図る。
- (3) 体力向上に成果をあげている体力アップスクール表彰受賞校の体力向上に係る取組や受賞校が活用した資料等を公開し、活用の促進を図る。

3 研修会・講習会等を通じた、教員の指導力向上

- (1) 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業（県内 5 ブロックに分かれて開催）における実技講習や、幼稚園から高等学校までの教員を対象とした学校体育実技講習会を通して、教員の指導力及び実技能力を向上させ、教科体育の充実を図る。
- (2) 市町組合教育委員会学校体育担当者等連絡協議会などの機会に、体力アップスクール表彰受賞校の実践事例の発表・研修を行っている地区の取組を紹介し、各市町から実践事例の普及に取り組んでもらう。